

災害に強い都市づくりガイドライン

【改訂版】

子ども達に良好な社会資本を受け継ぐため、都市基盤を着実に
整備し、安全で快適な“減災の都市・大阪”の実現を目指そう。

平成10年3月策定

平成17年1月改訂

大阪府建築都市部

まえがき

1. ガイドライン策定及び改訂の背景

平成7年1月の阪神・淡路大震災は、自然災害の脅威とそれに対する都市の脆弱性を再認識させ、我々に従来の都市づくりのあり方を再考させる契機となりました。

震災直後に、専門家で構成される「災害に強い都市基盤施設整備検討委員会」(委員長：吉川和広関西大学教授)を設置し、平成7～8年度の約2年間に及ぶ検討の結果、委員会の提言として「災害に強い都市基盤施設の整備方針」がまとめられました。

この提言に基づき、災害に強い都市づくりを具体的に実践していくためには、企画、計画、事業、維持管理の各段階において、地震被害の最小化を図る「減災」の視点を確実に盛り込むことが重要です。

また、当然ながら、その場合、投資の効率性も十分見極めた上で最大限の防災効果を得ることができるようにすることも必要です。

このような意図から、その実現のため、地震防災に関する基本的な考え方を、実務上の使いやすさや分かりやすさも目指しながら、平成10年3月にガイドラインとしてとりまとめました。

阪神・淡路大震災から平成17年1月で10周年を迎え、本ガイドラインも策定から7年近くが経過していますが、東南海・南海地震などの大規模地震発生の危険性が高まるなど、都市防災対策の必要性はますます高くなっています。特に、災害危険度の公表などによる公民の共通認識から始める災害に強い都市づくりを着実に進めることが求められています。

そこで、本ガイドラインの考え方を活かした取組を紹介するとともに、策定当初からこの間に得られた新しい知見や観点などを反映し、より使いやすいものとなるよう改訂しました。

2. ガイドラインの性格

このガイドラインは、阪神・淡路大震災の教訓を活かしつつ、東南海・南海地震など近い将来、発生が予想される災害に備え、現在までに蓄積された知見をもとに、都市づくりにおける地震防災対策上の留意点を整理したものです。

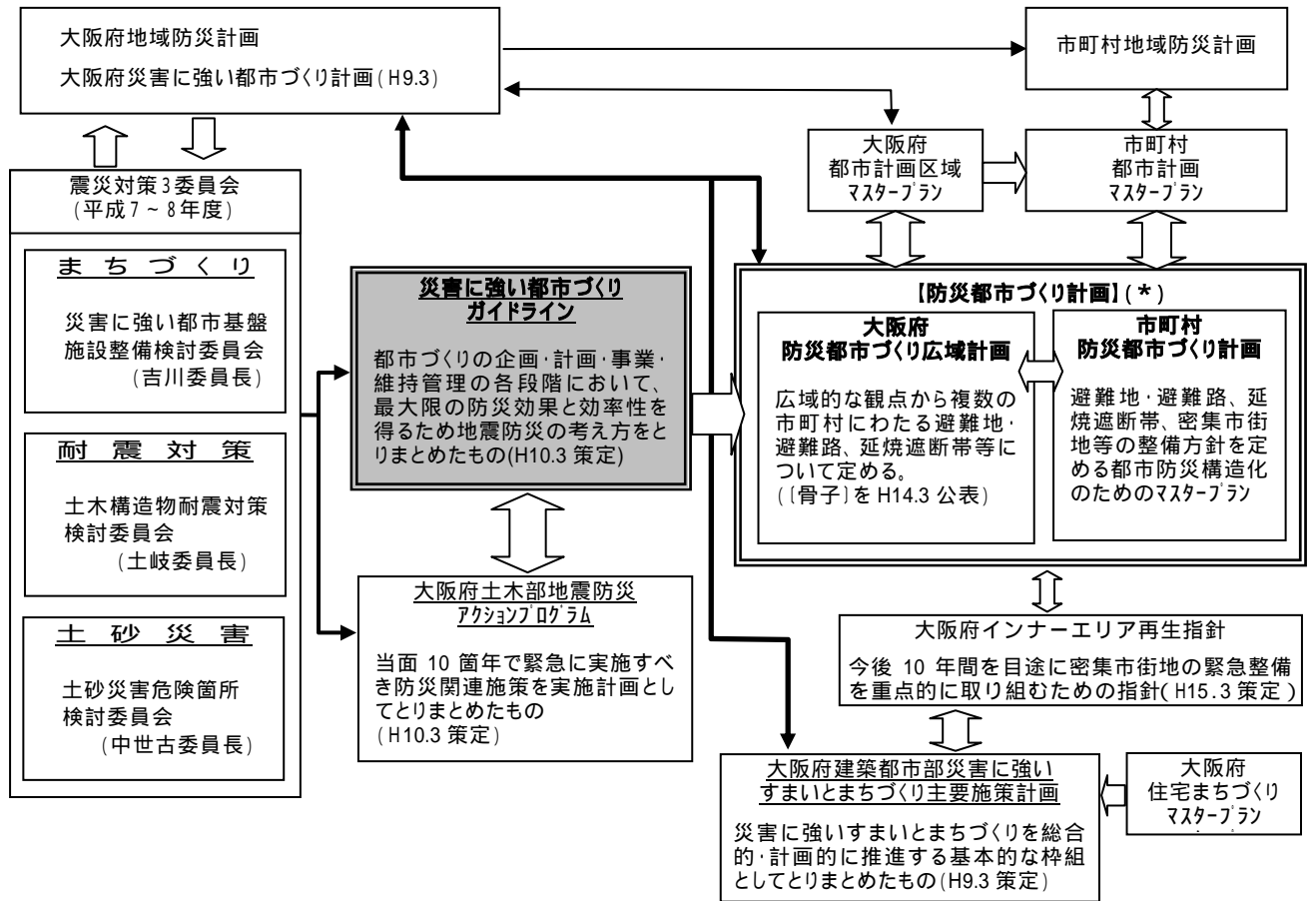
内容については、地震被害が地域の風土や歴史・伝統などに根ざした特徴から、「こうすれば大丈夫」という一つの解がないこともあります。また、実施に際しては財政上の制約などもあります。

そのため、このガイドラインは従来の基準のように、実施すべき最低基準を示したものではありません。

このガイドラインの考え方を理解していただき、地域の実情にあったより望ましい方策を検討し、実行するため、役立てていただくものと考えています。

大阪府や市町村をはじめとした都市づくりに関わる多くの方々が、このガイドラインを参考に、各地域の実情に応じて、可能なところから確実に「減災」の視点を盛り込まれることを期待しています。

3. ガイドラインの位置づけ



(*) 参考

防災都市づくり計画の策定 (H9.10.17 付け建設省都市局長通達を基に作成)

総合的な都市防災構造化対策を推進するために、地方公共団体が実情に応じ、主体的に都市防災構造化のためのマスタープラン(防災都市づくり計画)の策定に努めること。

1. 計画の策定主体

防災都市づくり計画を策定する者は、市町村の長を原則とする。

ただし、広域的な整備の観点から二以上の市町村の区域において一体として計画する必要がある場合は、都道府県知事が策定する。

2. 計画の内容

防災都市づくり計画には、根幹的な都市防災施設である避難地、避難路、延焼遮断帯などの整備に関する事項の他、木造密集市街地など防災上危険な市街地の整備に関する事項を盛り込むこと。

3. 計画の位置づけ

策定した防災都市づくり計画は、地域防災計画に位置づけること。

4. ガイドラインの使い方

「災害に強い都市づくり」を着実に進めるため、色々な場面で本ガイドラインを利用し、実施可能なメニューから順に取り組んでください。

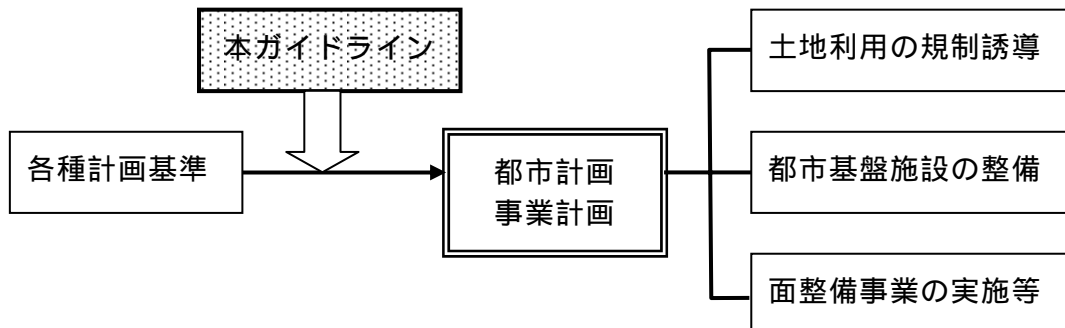
1. 防災都市づくり計画の立案に

地域防災計画と連携して、延焼遮断帯や避難施設、密集市街地整備等のためのマスタープランとなる「防災都市づくり計画」策定の指針として活用する。



2. 都市計画や事業計画の立案に

土地利用の規制誘導、都市施設や市街地再開発等を計画する「都市計画」や各種都市基盤施設などの「事業計画」の立案のための指針として活用する。



3. 行政と住民が協働で進めるまちづくりに

行政と住民が責任と役割を分担し協働して地域のまちづくりを進める際の指針として活用する。特に、災害危険度など市街地の現状と課題を公表し、住民のまちづくり意識を高めることが重要である。

